

第4回ネットワーク構築検討部会(2021年10月27日)下村委員説明資料

職業訓練、能力開発、スキルアップ、キャリアアップに関するメモ

①求職者支援制度利用者の訓練前後を比較した調査結果

7. 受講職業訓練分野との関連

図表5-31に、受講職業訓練分野別の職業スキル・生活スキルの訓練前後の変化の違いを示した。表に示したとおり、職業スキル・生活スキルともに「基礎コース」(データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの)で訓練前後の変化量が、かなり大きかった。特に変化量が大きかったのは、職業スキルの「機械やパソコンの操作を行うこと」、生活スキルの「パソコンでメールをやりとりをする」などのパソコンスキルであった。他に、職業スキルの「ビジネスマナーを理解していること」「作業に必要な道具、機材を選択すること」「資材や道具の管理を行うこと」「特定の業界の知識を用いること」などの、基礎的な職業スキル面で訓練前後の変化量が特に大きかった。

図表5-32に、受講職業訓練分野別のキャリア意識・就職意識の訓練前後の変化の違いを示した。職業スキル・生活スキルほどではないが、キャリア意識・就職意識でも「基礎コース」を受講した者が、訓練前後の変化量が統計的に有意に大きかった。特に、キャリア意識の「これからの職業生活について、自分なりに見通しをもっている」、就職意識の「就職情報誌やインターネットサイトで探し、利用すること」では変化量が大きかった。その他、「IT分野」「営業・販売・事務」「クリエイティブ・デザイン」などでも統計的に有意に変化量が大きい箇所がみられた。

図表5-31 訓練前後の変化の受講職業訓練分野別の違い(職業スキル・生活スキル)

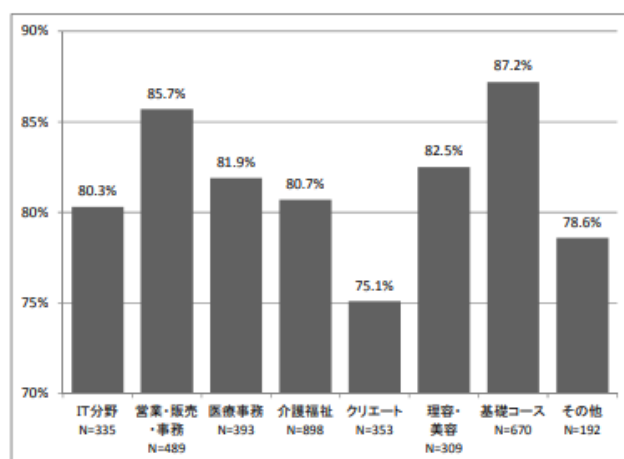
職業スキル	IT分野 N=342	営業・ 販売・ 事務 N=497	医療 事務 N=400	介護 福祉 N=928	クリエ イト・デ ザイン N=358	理容・ 美容 N=315	基礎 コース N=673	その他 N=195	sig.
書類を書くこと	0.25	0.42	0.28	0.20	0.24	0.21	0.51	0.23	**
人前で話すこと	0.29	0.37	0.26	0.26	0.29	0.17	0.41	0.27	**
人を説得したり、交渉したりすること	0.24	0.35	0.29	0.22	0.24	0.16	0.41	0.31	**
人にサービスをすること	0.19	0.20	0.18	0.13	0.13	0.09	0.32	0.18	**
特定の業界の知識を用いること	0.37	0.42	0.61	0.45	0.33	0.41	0.53	0.36	**
ビジネスマナーを理解していること	0.42	0.66	0.53	0.42	0.39	0.38	0.80	0.41	**
作業に必要な道具、機材を選択すること	0.45	0.60	0.41	0.34	0.48	0.54	0.63	0.51	**
資材や道具の管理を行うこと	0.39	0.48	0.31	0.22	0.29	0.50	0.55	0.42	**
機械やパソコンの操作を行うこと	0.51	0.75	0.21	0.20	0.21	0.06	1.35	0.28	**
体力的にきつい仕事をする事	0.30	0.22	0.27	0.14	0.10	0.21	0.36	0.29	**

※数値は訓練前後の差(訓練後の値-訓練前の値)。**は1%水準で、*は5%水準で統計的に有意な差がみられた箇所。統計的に有意な差が示された項目に関して、最も値が大きい箇所に網かけ、最も値が小さい箇所に下線を付した。

生活スキル	IT分野 N=342	営業・ 販売・ 事務 N=497	医療 事務 N=400	介護 福祉 N=928	クリエ イト・デ ザイン N=358	理容・ 美容 N=315	基礎 コース N=673	その他 N=195	sig.
朝、決まった時間に起きる	0.19	0.10	0.11	0.12	0.21	0.20	0.15	0.06	
時間を守る	0.07	0.10	0.13	0.06	0.12	0.11	0.14	0.01	
友達をつくる	0.23	0.21	0.23	0.16	0.21	0.11	0.29	0.14	*
自分の主張をはっきり言う	0.18	0.27	0.12	0.14	0.17	0.11	0.28	0.16	**
人と交渉する	0.22	0.26	0.17	0.17	0.18	0.18	0.34	0.17	**
自分の能力を正確に把握する	0.26	0.39	0.25	0.24	0.27	0.26	0.43	0.25	**
パソコンでメールのやりとりをする	0.28	0.40	0.16	0.15	0.15	0.04	0.90	0.09	**
自分の人生設計を立てる	0.28	0.31	0.23	0.23	0.25	0.17	0.42	0.24	**

※数値は訓練前後の差(訓練後の値-訓練前の値)。**は1%水準で、*は5%水準で統計的に有意な差がみられた箇所。統計的に有意な差が示された項目に関して、最も値が大きい箇所に網かけ、最も値が小さい箇所に下線を付した。

図表4-46に示したとおり、受講した職業訓練分野で統計的に有意な結果がみられた。「基礎コース」を受講した者がもっとも自信がついたと回答した割合が高かった。以下、「営業・販売・事務」「理容・美容」と続いていた。一方、「クリエイト」を受講した者がもっとも自信がついたと回答した割合が低かった。



図表4-46 受講した訓練分野の仕事をこなす自信 (かなり自信がついた+やや自信がついた)の受講した職業訓練分野別の違い

- ・「基礎コース」の重要性⇒十分に基礎的な職業スキルを身につける機会がなかった求職者に基礎的なスキルを付与する。あわせて生活スキルも立て直す。
- ・「ライフスキル」の重要性⇒ライフスキルをベースに就労に向かう基盤を形作る。もともと持っているライフスキルを就労場面に転換する機会を提供する。
- ・「自信」の重要性⇒基礎コースの受講者が最も自信がついたと回答。就労に向けた基本的な自信、自己効力感を形成する。

※概して、「職業訓練」の議論では、長期間にわたる高度な職業訓練、高度な専門性を身に着けた専門的な人材の養成に傾きがちになるが、職業訓練で最も効果が高いのは基礎的な訓練を受ける層。基礎コースを充実させるとともに、基礎コースがより実効を伴い、就労に結びつきやすいような施策の展開が求められる。

※「介護福祉」は、子供がいる、高校卒・中学校卒、収入・資産が少ない、生活保護受給者、直近の就労形態がパート・アルバイトまたは自営業、求職期間長い、雇用保険には加入せず、給付金申請者などで多かった。

※「基礎コース」は、中学校卒、生計の主な担い手と同居、収入低い、直近の就労形態がパート・アルバイト、非正規就労経験長いなどで多かった。

※「IT 分野」「営業・販売・事務」は、大学・大学院卒、本人収入高い、生活保護を受けていない、直近の就労形態が正社員・正職員で多かった。

②ハローワーク求職台帳及び雇用保険業務に関する台帳から訓練受講者 18,666 名と訓練非受講者 12,060 名を比較した調査

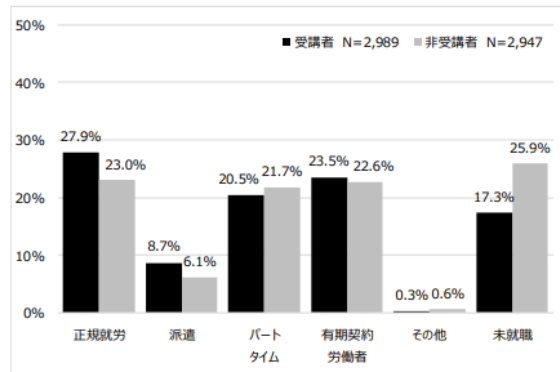
⇒「性別」「年齢」「前職賃金日額」「希望職業」「フルタイム就労希望」等を傾向スコアマッチングの手法によって統制。職業訓練の効果のみを比較。

さらに、図表 9 には、前職賃金月額の 25 パーセント別みた訓練受講者と非受講者の雇用保険被保険者資格取得時の月額賃金の平均値・標準偏差・中央値を示した。図表 8 と同様の傾向が読み取れるが、表から、①賃金日額下位 25%では、統計的に有意に訓練受講者の方が賃金が高いこと（約 6 千円程度）、②賃金日額上位 25～50%では、統計的に有意に非受講者の方が賃金が高いこと（約 3 千円程度）、③賃金日額上位 25%では、統計的に有意に非受講者の方が賃金が高いこと（約 1 万 2 千円程度）を指摘できる。これらから、訓練受講者は職業訓練の受講は、もともと前職までに高賃金で働いていた者よりは低賃金で働いていた者で、より一層好ましい効果が見られるという仮説がある程度まで正しいことが推測される⁴²。

図表 9 前職賃金月額の 25 パーセント別みた訓練受講者と非受講者の雇用保険被保険者資格取得時の月額賃金の平均値・標準偏差・中央値（千円）

	訓練受講者			非受講者			sig.
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
賃金日額下位25%	142.14	59.96	140	136.33	61.42	134	p<.01
賃金日額下位25～50%	162.82	65.51	160	165.16	137.42	160	
賃金日額上位25～50%	183.96	60.48	182	185.94	55.61	185	p<.05
賃金日額上位25%	207.65	88.88	200	233.95	212.40	216	p<.01

※sig.は有意水準。Mann-WhitneyのU検定の結果を示した。



図表 1 6 前職賃金日額下位 25%における
訓練受講者・非受講者別の雇用保険被保険者資格取得時の雇用形態

図表 1 7 前職賃金日額下位 25%における
訓練受講者と非受講者の雇用保険被保険者資格取得時の主だった就職先産業

	受講者 N=2,473	非受講者 N=2,184	差	sig.
85 社会保険・社会福祉・介護事業	17.5%	10.9%	6.6%	**
92 その他の事業サービス業	7.2%	5.8%	1.4%	*
83 医療業	7.9%	8.6%	-0.7%	
72 専門サービス業（他に分類されないもの）	3.5%	2.3%	1.2%	*
60 その他の小売業	4.2%	5.2%	-1.0%	
98 地方公務	6.2%	7.1%	-0.9%	
39 情報サービス業	2.6%	1.7%	0.9%	*

※「差」は「受講者-非受講者」の値。sig.は有意水準。**は1%水準で統計的に有意。

③求職者支援訓練で「役立ったもの」「もっと受けたかったもの」

図表 4 - 1 2 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「役に立った」もの

	N	%
履歴書の作成指導	2724	59.7
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	2717	59.5
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	2423	53.1
職場見学、職場体験、企業実習	1656	36.3
面接指導	1547	33.9
求人情報の提供	1378	30.2
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	903	19.8
ハローワークへの訪問指示	722	15.8
職業紹介	701	15.3
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	398	8.7
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	279	6.1

※訓練後調査に回答した4,797名による回答。ただし、無回答・欠損値の230名を除く。

図表4-26 就職支援およびキャリア・コンサルティングで「もっと受けたかった」もの

	N	%
職場見学、職場体験、企業実習	1053	26.3%
個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	936	23.4%
面接指導	889	22.2%
職業紹介	729	18.2%
求人情報の提供	705	17.6%
履歴書の作成指導	688	17.2%
地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	490	12.2%
外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	395	9.9%
ジョブ・カードの作成の支援及び交付	285	7.1%
ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	98	2.4%
ハローワークへの訪問指示	49	1.2%

図表4-25 受講した訓練分野別の「役に立った」ものの違い(複数回答)

	個別の職業相談(キャリア・コンサルティング)	求人情報の提供	履歴書の作成指導	ハローワークが行う就職説明会のお知らせ	ハローワークへの訪問指示	面接指導	ジョブ・カードの作成の支援及び交付	職場見学、職場体験、企業実習	地域の雇用情勢等に関する説明(職業人講話等)	外部のキャリア・コンサルタントによる個別相談	職業紹介
IT分野 N=329	60.2%	30.4%	52.9%	7.0%	12.2%	29.8%	56.8%	23.1%	24.9%	8.5%	12.8%
営業・販売・事務 N=483	62.1%	26.1%	65.4%	6.0%	13.3%	35.6%	55.3%	19.5%	21.9%	8.3%	12.6%
医療事務 N=391	56.8%	32.2%	73.1%	3.1%	15.9%	44.8%	47.1%	47.6%	12.8%	7.9%	15.3%
介護福祉 N=895	58.0%	35.6%	56.2%	10.7%	18.3%	35.0%	46.8%	66.3%	17.3%	8.3%	21.7%
クリエイト N=344	58.7%	27.9%	48.0%	3.5%	10.2%	20.1%	50.0%	30.2%	24.7%	7.3%	11.9%
理容・美容 N=297	55.6%	25.3%	45.9%	0.3%	13.5%	20.2%	47.8%	52.2%	16.2%	11.1%	14.8%
データ入力や基本的なパソコン操作を中心としたもの N=665	64.5%	31.0%	73.2%	5.1%	19.2%	44.7%	65.4%	14.0%	23.5%	8.1%	12.5%
その他 N=189	58.7%	25.4%	50.8%	3.7%	15.3%	24.3%	52.4%	34.9%	20.1%	12.7%	14.8%

※5%水準で統計的に有意に値が大きい箇所¹に網かけを、有意に値が小さい箇所²に下線を付した。

⇒「履歴書の作成指導(ジョブ・カードの作成支援含む)」「個別の職業相談(キャリアコンサルティング)」「職場見学、職場体験、企業実習」のニーズは高い。